

「姉小路氏城跡」が国史跡に指定、 「傘松城跡」が国史跡江馬氏城館跡に追加指定されることが決定！

飛騨市内にある姉小路氏城跡が国史跡に指定され、また、既に国史跡に指定されている江馬氏城館跡に、傘松城が追加指定されることが決まりました。これで市内における国史跡の件数は2件13城館となります。

◆姉小路氏城跡(あねがこうじしろあと)

姉小路氏城跡は、古川城跡(ふるかわじょうあと)・小島城跡(こじまじょうあと)・野口城跡(のぐちじょうあと)・向小島城跡(むかいこじまじょうあと)・小鷹利城跡(こたかりじょうあと)の5つの城跡の総称です。

14世紀後葉に飛騨国司となり三家に分立した姉小路氏が、中世飛騨国の中心地である古川盆地の、各々の拠点に築いた中世山城群です。後に同地へ進出する三木氏(みつぎし)や金森氏(かなもりし)の手による改修の跡も良好に残り、中世飛騨国の変遷過程を物語る山城群と言えます。

これらの城館群は良好な遺構の残存状況に加え、山城の構造の変遷から飛騨地域の歴史の変遷を読み解くことができる点が評価されました。



小島城復元イラスト

姉小路氏城館跡調査指導委員会 委員長 中井均 氏(滋賀県立大学名誉教授)のコメント



姉小路氏城跡の5城は、飛騨国の戦国時代の公家大名の姉小路氏による築城や三木氏による改修から、秀吉の命を受けて飛騨に入った金森長近による近世城郭への改修が非常によく分かる山城跡である。このように中世から近世に至る城郭の変遷が分かる点は、日本の地域支配の在り方の縮図とも言え、国の史跡にふさわしい。

これまで飛騨市に大切に守られきた姉小路氏城跡が今後保存され、国の宝として活用されることが大いに期待される。

◆傘松城跡(からかさまつじょうあと)

江馬氏城館跡は居館であった下館跡と6つの山城からなる史跡であり、昭和55年に国史跡に指定されました。傘松城跡も江馬氏関連の城館であり、歴史的価値が高いとして、追加指定の対象になりました。

江馬氏は鎌倉時代から安土桃山時代まで北飛騨を中心に所領を持った一族です。

傘松城跡は、周辺の城館や街道、集落を見下ろす位置にあり、領域支配の拠点的な役割を担っていたと考えられます。



傘松城跡の遺構

飛騨市美術館企画展 「姉小路氏城館跡と飛騨の中世」

これまでの各種調査の成果を紹介するとともに、発掘調査の出土品、復元イラスト原画や関連する文化財を展示します。

- ◆期間 12月17日(日)まで開催中
- ◆時間 9:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで)
- ◆場所 飛騨市美術館

学芸員ギャラリートーク

調査を担当した飛騨市学芸員による、展示内容の解説を行います。(各30分程度)

- ◆開催日
 - (1)11月26日(日) 10:00 ~、13:30 ~
 - (2)12月3日(日) 10:00 ~、13:30 ~
- ◆場所 飛騨市美術館 展示室
- ◆参加費 無料(入館料は必要)

10/15 戦場カメラマンの渡部陽一さんの講演会を開催



ルワンダ内戦やイラク戦争、アフガニスタン紛争など世界各地の戦争や紛争地帯の最前線を写真で伝える戦場カメラマン・渡部陽一さんの講演会「戦場からのメッセージをあなたに～ファインダー越しに見た命の現場～」が飛騨市文化交流センターで開催されました。

戦場では、道路や線路などの社会インフラや、病院や学校といった命を守る現場が必ず標的になると指摘。戦場では弱い存在、特に子どもたちの命が今この瞬間も危険にさらされており、「こうした子どもたちの声を広く皆さんに届けられる写真を残していきたい」「日本の子どもたちの声を戦地の子どもたちへ届ける架け橋になりたい」と強い思いを語りました。

『平和コンテスト』を開催しました。入賞作品を紹介します。



<金賞>
宮前 紗季さん (神岡小)



<銀賞>
浦西 美空さん (古川西小)



<銅賞>
土田 結月さん (神岡小)



<銅賞>
林 泉乃介さん (古川小)

<小塩卓哉先生特別賞> 家越 京子さん

「戦争に大義はなしと語り継ぐ父の戦後は静かに去りぬ」

【講評】

今、世界中で様々な紛争や武力衝突が頻発する中、もう一度世界大戦が起きても不思議ではないと言われています。静かに終わった「父の戦後」の大切さを、しみじみと感じている作者なのです。

<川上まなみ先生特別賞> 下出 茂子さん

「ひまわりと背くらべした日の遠く孫おのおのの夏を迎える」

【講評】

時間の経過がたつぷりと歌われている歌だと思います。現在の日本ののどかな夏。そんな場所で平和に暮らせる素晴らしさ。そして、過去、夏には戦争が起こっていたこと。今も世界のどこかでは戦争が起こっていること。様々な生活を思い返しつつ、それでもお孫さんがおのおのの夏を過ごしていることへの嬉しさがよく伝わってきました。



市民ライターがまちの話題をお届け!! /
広報ひだまち特派員レポート
(特派員:水樹 華・林 実香)



9/8

**宮川町の中村守隆さんが
瑞宝双光章を受章しました**

昭和30年4月から40年間にわたり、小中学校の教員として勤務された宮川町の中村守隆さんに対し、教育の振興に多大な貢献をしたとして瑞宝双光章が贈られました。



10/5

**シルバー人材の皆さんが
市内の公共施設周辺で奉仕活動**

飛騨市シルバー人材センターの会員が、福祉施設やスポーツ施設など19カ所で草取りや草刈り、樹木の剪定、清掃作業などを行う奉仕活動を実施し、90名が参加して作業に汗を流しました。



10/7

**「飛騨種蔵棚田そば」のオーナーが
収穫作業を行いました**

農地の荒廃防止と地域特産品の振興を目的に飛騨市ふるさと種蔵村が行っているソバのオーナー制度の一環で、手刈りでの実の収穫と脱穀作業体験があり、県内外のオーナーと家族ら15人が参加しました。



10/2

**神岡町の手芸愛好家の皆さんが
作品展を開催**

神岡町の手芸愛好家による「和い和い会」が、遊郭だった若松家(深山邸)を活用し、つるし飾りや木目込み人形、刺しゅうなど、町民15人の作品を展示する「きょういくところ」集う作品展を開きました。



10/7

「ふるさと神岡でピエトロの出張レストランを」の願いかなう

ドレッシング等の食品製造・販売や、パスタ専門店などのレストランを営む福岡市の株式会社ピエトロが、神岡町出身の女性の願いを叶え、船津座で「ピエトロシェフが行く！出張レストラン」を開きました。



10/8

**初秋の流葉スキー場で
「第1回ひだ流葉クロスカントリー」**

ゲレンデ内の1周3.3キロの自然豊かなウォーキングコースを周回する「第1回ひだ流葉クロスカントリー」が、神岡町伏方のひだ流葉スキー場で行われ、全国から訪れたランナーが健脚を競いました。



10/10 ノブドウのリキュール酒
「百寿のしずく」をお披露目

民間企業や農業者などが連携して開発したノブドウのリキュール酒「百寿のしずく」がこのほど完成し、その開発に至った経緯や取り組みの内容、商品の紹介なども兼ねた試飲会が市役所で行われました。



10/12・13 「河合っ子座公演」控えた児童が
専門家から歌舞伎の基礎学ぶ

歌舞伎「河合っ子座公演」を前に、出演する河合小学校の5、6年生が専門家から歌舞伎の基礎などを学ぶ歌舞伎教室が開かれ、児童11人が美濃歌舞伎博物館・相生座の小栗幸江館長らから指導を受けました。



10/14・15 飛騨のグルメやイベントなど楽しむ
「食と森の祭典」を開催

飛騨市内の食材を使ったグルメや特産品、各種イベントなどが楽しめる「飛騨市食と森の祭典」が、飛騨古川まつり広場周辺などで開催され、大勢の人でにぎわいました。



10/14 芥川賞作家・小川洋子さんの
朗読会を開催しました

小説家で、重力波望遠鏡「KAGRA」の命名委員長も務めた小川洋子さんによる朗読会が開かれました。また、重力波観測研究施設長・大橋正健教授との対談もあり、会場には多くの市民らが参加しました。



10/18 第19回飛騨市美術展の
「飛騨市民賞」が発表されました

9月24日～10月9日に開催された「第19回飛騨市美術展」で、来館者の投票数が最も多かった作品に贈られる「飛騨市民賞」に、洋画部門に出展した岐阜市在住の湯之下正純さんの「晩雪心象」が選ばれました。



10/19 負傷男性を救護した神岡町の
沖田真一さんに感謝状を贈呈

神岡町和佐府地内の大規模林道高山大山線で負傷していた男性に、迅速で適切な応急手当をし、予後悪化を防いだとして、神岡町和佐府の沖田真一さんに對し、飛騨市消防本部から感謝状が贈られました。



市民ライターがまちの話題をお届け!! /
広報ひだまち特派員レポート
(特派員: 水樹 華・林 実香)



10/19 「もんじろう商店」出品の“高原川の鮎”が利き鮎会で準グランプリ

日本一の鮎を決める「清流めぐり利き鮎会」が9月15日に高知県で開催され、神岡町でおとり鮎・遊漁券販売所を営んでいる、もんじろう商店が出品した高原川の鮎が準グランプリに選ばれました。



10/27 飛騨市美術館が神岡小3年生を対象に「出張美術館」

美術館に出かける機会が少ない子どもたちのために開催。上屋美千弘館長は神岡町出身の船坂芳助さんの版画を紹介し、作品の見方や感じ方を深める授業を行いました。この催しは古川小でも行われます。



10/29 建設中のハイパーカミオカンデの現地見学会が行われました

神岡町内の地下で建設が進んでいる超大型水チェレンコフ観測装置「ハイパーカミオカンデ」の本体空洞の掘削工事のうち、ドーム部の掘削が完了し、報道関係者向けの現地見学会が行われました。



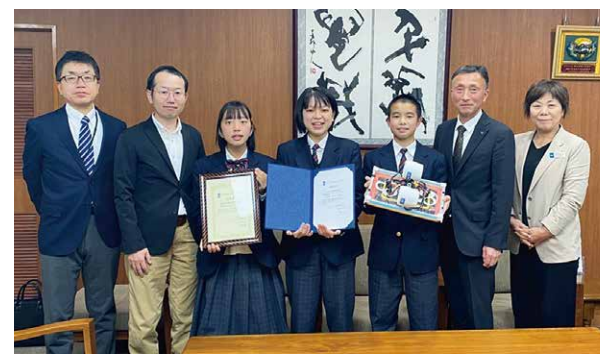
10/22 ひだ宇宙科学館カミオカラボの累計来館者数が40万人を突破

平成31年3月27日に開館した「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」の累計入館者数が40万人を突破しました。40万人目となった富山市の位寄健誠さんには、記念品を贈呈しました。



10/28 生徒や地域の人と一緒に楽しく学ぶ講座を開催しました

「学び」は「楽しい」をコンセプトに、飛騨神岡高校の生徒と職員、地域の人々が集い、世代を超えてみんなと一緒に学ぶ催し「ひだかみアカデミア『がくしゃへGO!』」が、同校で行われました。



10/31 「ロールス・ロイス サイエンスキャンプ」で飛騨神岡高ロボット部が最優秀賞

「ロールス・ロイス サイエンスキャンプ2023」で飛騨神岡高校ロボット部「Neutrino」チームが最優秀賞を受賞し、倉住夏音さん(2年)、中島聖音さん(同)、田中万達さん(1年)の3名が喜びを報告しました。